

## スペイン合宿で スピンとフィジカルを強化!



スペイン合宿に参加したのは、河内一真、川上倫平、吉村大生の3名と、柳川高校の武方駿哉。クレーでのプレーを向上させる良い機会となった

下半身や体幹を鍛えるトレーニングの他に、クレーでのフットワークを磨く練習も行なわれた



4月23日から30日わたり、スペイン・バルセロナにてTeam HAT 男子チームの合宿が行なわれた。

1日のスケジュールは9時から始まり、16時半ごろに終了となる。その間に2時間のトレーニングを1回、1~2時間のオンコート練習が2回行なわれる。1回目のオンコートではショットを磨き、2回目はポイントなど実戦形式の練習が行なわれることが多かったようだ。

参加した河内一真は、「軸足からの力をしっかり伝えられるように、動きのある球出しでとにかくたくさんボールを打ちました」とスピンのかかった重いボールを打つことが課題となった。また、クレーならではのスライドフットワークの練習も行なうことができた。

川上倫平も、「何度も注意されたのは、『足を止めるな、しっ

かりスピンをかけて打て』の2つでした。普段無意識に妥協していた部分が丸裸になり少しの妥協を許してくれませんでした」と、スピンを学びつつ、スペインの厳しさも味わった様子。

吉村大生はボールへの入り方や中に入った時の打ち方を指導され、ポイント練習では学んだことを実践。「リズムやタイミングを変えたりなど、相手に同じリズムでやらせない事がとても大切だと感じました」と、新たな課題も明確になった。

3人もかなり疲労を感じるほどしっかりと追い込み、少しでも自分にプラスになるものを持ち帰ろうとどん欲に取り組んだ。また、途中から全国選抜高校テニス大会の個人戦で優勝した柳川高校の武方駿哉も合宿に参加した。

# 坂詰姫野がグランドスラム 予選に初出場!

21歳のチームHATのエースが、初めて全仏オープン予選の舞台に立ち、  
キャリアハイ164位をマークした。

坂詰姫野が上昇気流に乗っている。今年の2月に行なわれた日本リーグで戦った時には、「グランドスラムの予選に出られるよう頑張りたいです」と語っていたが、早速その目標を達成した。

坂詰はグランドスラム出場より前の5月に、橋本総業HDが協賛する岐阜で開催された8万ドルのカンガルーカップ国際女子オープンで優勝を果たしている。第7シードで出場し、準決勝ではWTAランキング118位の第1シードを、決勝では同154位の第2シードをストレートで撃破して優勝を飾った。大会前は219位だったランキングも、170位へと上昇し、初めて200位の壁を破った。

坂詰は自身のインスタグラムで「カンガルーカップ優勝しました。本当に嬉しい!! 満足せずまた頑張ります。本当に楽しい1週間でした」と喜びを語っている。

勢いに乗って出場した初めてのグランドスラムは、全仏オープン予選。レッドクレーのサーフェスはどの日本人選手にとっても難しいサーフェスで、坂詰も予選1回戦で自分よりもランキングが下位の選手に敗退してしまう。「初めてのグランドスラムは苦い苦い思い出になりました。来年頑張ります」と振り返った。しかし、ウイナーを21本奪い、相手の10本よりも大きく上回っていることから、攻撃的なプレーを貫いたことがうかがえる。

グランドスラム予選で白星とはならなかったが、ランキングは自己最高となる164位にまでアップ。日本人選手では、日比野菜緒、内島萌夏に次いで、3位の位置に付けている。今の勢いを持続して、さらなるブレイクを期待したい。

カンガルーカップに優勝した坂詰姫野(右)と、チームHATの総監督であり、坂詰のコーチを務めている吉田友佳氏(左)

## GRAND SLAM 全仏オープン予選 (5月22日~5月26日/フランス・パリ)

1回戦	4-6,1-6	Emiliana ARANGO (COL)
-----	---------	-----------------------

## ITF W80 カンガルーカップ国際女子オープン (5月1日~5月7日/日本・岐阜)

決勝	7-5,6-3	Katie BOULTER [2] (GBR)
準決勝	6-4,6-3	Su Jeong JANG [1] (KOR)
準々決勝	2-6,6-1,6-1	加治遥 (JPN)
2回戦	6-1,3-2 ret.	Maddison INGLIS (AUS)
1回戦	6-0,6-0	池戸悠希子 [WC] (JPN)

※ []内の数字はシード、ret=棄権、WC=ワイルドカード

## 坂詰姫野からのメッセージ

「ジュニア時代にも出場したことのないフレンチオープンで戦うことができ、テレビ越しで憧れていた世界でようやく戦う権利を得たことをうれしく思いました。一方でまだまだ足りない部分が多く、精神的にも技術的にも、やらなければならないことが多いと痛感しました。良かった点もありましたが、今後勝つために必要な部分を知ることができたと思います。

自分の夢に一步前進したことは前向きに捉えたいですが、ここで勝っていくためにはまだまだ足りないことが多いので、良かったところは自信にして、足りないところはさらに練習して、もっと高みへ行きたいと思います。これから応援よろしくお願いします!」



# 柳川高等学校にドーム型 室内テニスコートを建設!

テニスの名門「柳川高等学校」にドーム型の室内テニスコートを建設し、6月11日に完成記念式典が行なわれた。式典には、柳川高校のOBや現役選手など約160名が集まり、同高OBの福井烈氏は「一球を無駄にせず、一生懸命取り組んで行けば、夢は叶うと思います」と現役選手に激励の言葉を送った。

コートはドーム式でハードコート2面を装備。今後はカメラを設置し、選手のプレーを動作解析する予定で、『テニスを科学する』ことについての橋本総業HDテニスチームとの共同企画プロジェクトとなる。AI（人工知能）分析システムを導入することで、より科学的にテニス部をサポートできるだろう。

6月10日、11日には完成記念大会が開催され、橋本総業HD、実業団OB、柳川高校OB、九州地区大学選抜チーム、柳川高校現役テニス部の5チームで団体戦を実施。白熱した試合が繰り広げられた中、橋本総業HDテニスチームが優勝を果たしている。



ハードコート2面が屋根と壁に覆われたドーム式テニスコート。天候を気にせず練習できる環境が整った

福井烈氏（左）と、橋本政昭会長（左から2番目）、完成記念大会に出場し優勝を果たした橋本総業HDテニスチーム



## 冠スポンサーの国際大会

# 有明国際のダブルスで 森崎可南子が優勝

橋本総業東京有明国際女子オープンが5月30日～6月4日にわたり、有明テニスの森公園で開催された。ITF ツアー 2.5万ドルの大会で、シングルスは第3シードのYafan WANG (CHN)、ダブルスでは第1シードのLuksika KUMKHUM / 森崎可南子組 (THA / 橋本総業HD) が優勝した。



ダブルスでトロフィーを掲げた森崎可南子（左）とクムクム（右）



優勝者のワン（右）と準優勝のスペンセン（左）。橋本政昭会長（中央）がプレゼンターとしてシングルの表彰式に出席した

## 小堀 桃子

Momoko Kobori



ITF W25  
DOUBLES  
優勝

協賛大会  
軽井沢国際女子テニス大会  
日本・軽井沢  
5月22日～5月28日  
ダブルス優勝

## 松田 美咲

Misaki Matsuda



ITF W25  
DOUBLES  
優勝

ITF W25  
イタリア・  
サンマルゲリータ  
ディプーラ  
4月17日～4月23日  
ダブルス優勝

## 奥脇 莉音


Rinon Okuwaki



ITF W15  
DOUBLES  
初優勝

ITF W15  
大東建託オープン  
supported by JWT50  
日本・福井  
4月25日～4月30日  
ダブルス優勝



働くスキーヤー 

# ASAMIのコラム

オフシーズンは橋本総業 HD 社員として働く片桐麻海が、スキーの魅力を楽しく、わかりやすく伝えます！

Photo:WATANABE Shin



## アルペンスキーはこんな競技!

今年から橋本総業ホールディングス株式会社のアルペンスキーの所属選手として活動させていただくことになりました、片桐麻海と申します。

現在は、社員として働きながら、次のオリンピック（2026年ミラノ・コルチナダンペッツォ）を目指して日々トレーニングに励んでおります。これから Team HATの一員として、皆様に応援していただける選手となるよう、努めて参ります。どうぞ、宜しくお願い致します。

アルペンスキーをご存じでしょうか。アルペンスキーは、雪山の斜面を左右交互にターンしながら、高速で滑り降りる競技です。設定されたコース内を2回滑走し、その合計タイムで順位を争います。種目は100km/hを超える高速系の種目（滑降・スーパー大回転）や、テクニックがより必要とされる技術系の種目（大回転・回転）があります。

私は主に技術系の種目を行っており、現在世界で活躍する日本のアルペンスキー選

手も同様です。

アルペンスキーは自然が舞台の競技です。常に自然と共に過ごし、自然が対戦相手だったり、遊び相手だったりします。天候や地形、雪の状況など、その場の環境によって成績が左右します。もちろん、ゲートのセッティングも毎度違うので、大会では同じセッティングを2度として滑ることはできません。しかし、その難しさと非日常的な環境がアルペンスキーの魅力といえます。

高い山から常に雪景色が見え、普段の生活では感じられないスピードを身ひとつで滑る感覚は唯一無二な競技であるといえます。シーズン中は肩の力を抜いてスキーをすることでストレスが和らぐこともしばしばあります。スキーはあまり身近なスポーツではないので、イメージしづらい部分もあると思いますが、これからコラムを通して、よりたくさんの方々々にスキーの魅力を伝えていきたいです！



アルペンスキー競技の種目には、よりテクニックが必要とされる「大回転」「回転」がある

### PROFILE

**片桐 麻海** Asami Katagiri

1999年7月13日 北海道生まれ。5歳からアルペンスキーを始める。青山学院大学卒業。中学1～3年生までU16強化指定選手。高校1年生の2015/16シーズンに全日本スキー連盟強化指定選手。全日本スキー選手権大会大回転3位。

## 契約選手紹介



**大前 有希**

Yuki Ohmae  
兵庫県出身/35歳

クレ  
射撃



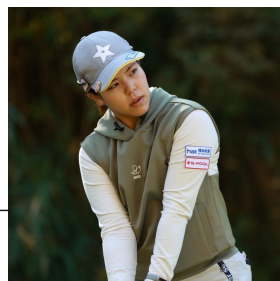
**荒川 怜郁**

Reika Arakawa  
沖縄県出身/22歳

ゴルフ

**金城 和歌奈**

Wakana Kinjyo  
沖縄県出身/23歳



**小西 瑞穂**

Mizuho Konishi  
広島県出身/25歳

**花城 美久**

Miku Hanashiro  
沖縄県出身/25歳

